第5回 目黒区交通バリアフリー推進基本構想改定及び推進協議会 会議録

■開催日時・会場・出席者・次第・配布資料

日時	令和4年11月18日(金) 14時00分～15時00分
会場	目黒区総合庁舎 本館4階 政策会議室
出席者 委員20名 (出席名18名 欠席2名)	【出席】 寺内会長、丹羽副会長、山田委員【代理 岸井氏】、依田委員、小林委員、山本委員、宮澤委員、大野委員【代理 池田氏】、飯箸委員【代理 奥氏】、鈴木委員、五島委員【代理 木村氏】、篠田委員【代理 乾氏】、石委員【代理 武田氏】、山下委員、浅川委員、雑賀委員、竹内委員、清水委員、 【欠席】 高橋委員、菊池委員 【事務局】 目黒区都市整備部都市計画課 都市計画係長、都市計画係職員
次第	1 開会 2 議題 (1)【報告】R4.3時点の重点整備地区における特定事業等の進捗状況について (2)【報告】祐天寺駅、学芸大学駅周辺地区における最近のバリアフリーへの取組について (3)【情報提供】西小山駅、目黒駅周辺地区のまちづくりの動きについて (4)【検討課題】バリアフリーマップ作成の取組について (5)協議会の名称変更等について 3 閉会
配布資料	1 次第 2 座席表 3 目黒区交通バリアフリー推進基本構想改定及び推進協議会名簿 4 R4.3時点の重点整備地区における特定事業等の進捗状況について 5 祐天寺駅周辺地区における最近のバリアフリーへの取組について 6 学芸大学駅周辺地区における最近のバリアフリーへの取組について 7 西小山駅周辺地区のまちづくりの動きについて 8 目黒駅周辺地区のまちづくりの動きについて 9 “みんなでつくる”バリアフリーマップ作成マニュアル等 10 意見票

■会議要旨

1 開会	
会長	(開会あいさつ)
事務局	(配布資料の確認等)
2 議題(1)、(2)について	
事務局	(議題(1)、(2)について説明)
会長	ただ今の説明で、ご不明な点等ございます方は挙手をお願いしたい。
委員	2点ある。 1点目は、中目黒駅の山手通り沿いを少し北上した所の五差路の交差点は、歩行

	者、車両が多いうえに通行の方向が複雑なため、事故の可能性が高く、障害者にとっても危険が大きいと感じているため、改善の検討を願いたい。 2点目は、祐天寺駅前広場について、今後どのように変わるのか、もう少し具体的に教えてほしい。
事務局	1点目について、山手通りは東京都が管理しており、現在計画道路も整備中である。今のご意見は、今後、関係機関等と共有させていただく。 2点目について、本日、担当所管である都市整備課が同席していないので、詳細はご説明できないが、祐天寺駅に近い側も広場にして、駅前広場に歩行者が溜まることができ、駅からバス通りなどへの導線を考えた空間作りを検討している。バスのルートについては、バス事業者と調整を行っていく。 また区民の皆様や関係各位にもご意見をいただくことになると思われるので、その際にはご協力願いたい。
会長	バスの正着※については、きちんと配慮されたものになるようお願いしたい。 ※バスがバス停にピッタリ停車すること
3 議題（3）、（4）、（5）について	
事務局	(議題（3）、（4）、（5）について説明)
会長	ただ今の説明で、ご不明な点等ございます方は挙手をお願いしたい。
委員	3点ある。 1点目は、先ほどバスの正着の話が出ており、とても大事なことだと思うが、身体障害者用の駐車場も最初から計画しておいてもらいたい。計画の際には、「駅から近くて止めやすい」、「屋根がある」、「身体障害者用の駐車場ということが分かりやすい」駐車場にしてもらいたい。 2点目は、バリアフリーマップについて、作成した際に、どのように目黒区民や、区外にお住まいの方に周知していくのか。私は、今年度からバリアフリーマップのデジタル化を進めていく取組をしているため、ぜひ目黒区もこのような取組を進めていただければと思う。 3点目は、東京都は「東京都手話言語条例」を令和4年9月1日に施行したが、目黒区でも何か取組を進めていくということがあれば教えてもらいたい。
事務局	1点目については、担当所管に共有させていただく。 2点目について、公開型GISを活用し、皆様に活用しやすく、共有いただけるようなバリアフリーマップの作成を心掛けていく。
区職員 (事務局外)	3点目について、「東京都手話言語条例」が制定されたこと、そしてその内容についても把握している。目黒区においては、まだ条例は制定していない。しかし、条例が制定されていないから取組が遅れているということではなく、聴覚障害がある方ときちんと意思疎通が図れるよう、障害部門の職場には手話通訳ができる職員を配置している。また、手話通訳者の養成講座等も定期的に開催している。 東京都の動きも踏まえながら、引き続き区において必要な取組を検討していく。
委員	2点ある。 1点目は、祐天寺駅前広場の整備に向けた検討部会には私も参加しており、障害者団体の代表として、身体障害者用の車の乗降できるスペースを設けてほしいとお

	願いしており、目黒区にはご理解いただけたと思う。引き続き、屋根があり、大きな車いすでも問題なく停めることができるような乗降スペースの設置をお願いしていきたい。 2点目は、バリアフリーマップについて、ぜひ作成をお願いしたいところである。資料に高槻市の例もあるが、トイレの仕様の詳細など、細かい部分まで記載してほしい。例えば、小学生くらいになると、成人用の大きめなベッドがトイレの中に必要になる。新しく整備するトイレだけでなく、既存のトイレについても後から設置した場合は、バリアフリーマップに分かるように記載してほしい。また、現地の表示板などにもわかるように記載してほしい。
事務局	1点目について、事務局からも、担当所管に身体障害者用の車の乗降できるスペースの設置についてお願いしていく。 2点目について、成人用ベッドについては、「目黒区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想」の中にも設置していくよう記載している。限りあるスペースの中に設置することになるので、その場の状況など踏まえながら整備所管と調整させていただく。 また、トイレの仕様などの情報提供についても、バリアフリーマップや現地での提供を、ユニバーサルデザインを考慮して、適切な情報を提供できるように検討していく。
会長	学芸大学駅周辺地区でのバリアフリーの取組を紹介していただいたが、この前改定されたガイドラインにも、交通安全対策と移動円滑化の考え方も新たに整理されているかと思うので、参考にさせていただき、安全かつ誰もが歩きやすい道づくりを目指していただければと思う。特にこのエリアは補助26号線も整備され、地区に入ってくる車も増えるかと思うので、警視庁とも連携して整備していただければと思う。
委員	目黒線の洗足駅周辺についてお願いがある。洗足には全盲の方が住まれており、洗足駅前の五差路になっている交差点の信号を利用しているのだが、青信号のタイミングがわかりづららしく、赤信号で渡ろうとして周囲の方から止められている光景を何度も目にしている。本人は音声信号機の設置を希望しており、すでに音声信号機対応スマホ『信GO!』のアプリはインストールしている。『信GO!』を使うと、振動で信号が変わったことを教えてくれるようで、周りの人からうるさいと思われることもなく、安心して渡ることができる。洗足駅前に音声信号機の設置をご検討いただき、『信GO!』のアプリの検証についても行っていただきたい。
事務局	事前にご意見をいただきまして、事務局で調査した結果をご紹介させていただく。警視庁のホームページを確認したところ、『信GO!』に対応した信号機は、都内では高田馬場付近に15か所設置されているとのことである。都内ではまだ少なく、現行では音響信号機の方が多い。目黒区の音響信号機の設置箇所についても警視庁のホームページで公表されており、2020年の6月現在だと目黒警察署の管内で19か所、碑文谷警察署の管内で10か所、合計29か所で設置されている。
会長	『信GO!』に対応した信号機が都内に広がっていくというよりは、障害者の方が多い箇所で設置されているという印象を受ける。『信GO!』に対応した信号機

	や一般的な音響信号機がより広がっていけば良いと思う。『信GO!』に対応した信号機の情報等は今後も皆様にご発信いただき、目黒区でも受け入れる体制を作っていっていただければと思う。
委員	音響信号機の設置については、周辺の住民の方の要望とご理解などがあるので、また目黒区と検討していけたらと思う。 『信GO!』に対応した信号機については、必要であれば確認して回答させていただきます。
4 閉会	
会長	(閉会あいさつ)